

令和6年度 学校教育自己診断【教職員用】

大阪府立守口支援学校

【回収率】

小学部:36(36)【100%】 中学部:25(25)【100%】 高等部:26(26)【100%】 その他:13(13)【100%】 合計100(100)【100%】

「肯定」:「A:よくあてはまる」「B:ややあてはまる」を合わせた割合を算出

「否定」:「C:あまりあてはまらない」「D:まったくあてはまらない」を合わせた割合を算出

| | | 診断内容 | 肯定的意見 | | | | 否定的意見 | | | |
|-----------|---|---|-------|-------|----------|----|-------|-------|----------|----|
| | | | R6 | R5 | 前年比 | 順位 | R6 | R5 | 前年比 | 順位 |
| 学校教育計画 | 1 | 学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。 | 92.0% | 85.3% | 6.7ポイント | 5 | 8.0% | 10.5% | -2.5ポイント | 16 |
| | 2 | 各年度末には、教育活動全般にわたって反省・評価を行い、次年度の「学校教育計画」にいかしている。 | 77.0% | 68.4% | 8.6ポイント | 24 | 12.0% | 16.8% | -4.8ポイント | 10 |
| 学校運営・学校経営 | 1 | 児童・生徒の学びを支援するため、学部間の連携が円滑に行われ、うまく機能している。[70%以上] | 81.0% | 73.7% | 7.3ポイント | 17 | 17.0% | 15.8% | 1.2ポイント | 3 |
| | 2 | 教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。[70%以上] | 85.0% | 76.8% | 8.2ポイント | 14 | 12.0% | 15.8% | -3.8ポイント | 11 |
| | 3 | 日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談しあえるような職場の人間関係ができています。[70%以上] | 80.0% | 75.8% | 4.2ポイント | 18 | 16.0% | 16.8% | -0.8ポイント | 4 |
| | 4 | 教職員は服務規律の遵守等、教育公務員としての自覚をもって勤務している。 | 94.0% | 88.4% | 5.6ポイント | 2 | 4.0% | 7.4% | -3.4ポイント | 22 |
| | 5 | 施設・整備は必要に応じて適切に整備しよう努力している。 | 76.0% | 76.8% | 0.8ポイント | 26 | 23.0% | 22.1% | 0.9ポイント | 2 |
| | 6 | 教育活動に必要な情報について児童・生徒・保護者や地域への周知に努めている。 | 92.0% | 85.3% | 6.7ポイント | 5 | 3.0% | 7.4% | -4.4ポイント | 24 |
| 危機管理・安全管理 | 1 | 大規模災害に備え迅速かつ適切な対処ができるよう、対策の検討と整備を行っている。 | 90.0% | 87.4% | 2.6ポイント | 7 | 7.0% | 4.2% | 2.8ポイント | 18 |
| | 2 | 教職員間におけるセクハラ、パワハラ等の人権侵害事象が発生しないために啓発等を行っている。[85%以上] | 85.0% | 88.4% | -3.4ポイント | 12 | 10.0% | 5.3% | 4.7ポイント | 14 |
| | 3 | 施設・設備について日常的に点検や管理が行われている。[75%以上] | 87.0% | 82.1% | 4.9ポイント | 10 | 11.0% | 12.6% | -1.6ポイント | 12 |
| | 4 | いじめ(疑いも含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。 | 77.0% | 73.7% | 3.3ポイント | 24 | 4.0% | 6.3% | -2.3ポイント | 22 |
| 人権教育 | 1 | 児童・生徒の人権を尊重し、日常の教育活動を行っている。 | 94.0% | 93.7% | 0.3ポイント | 2 | 3.0% | 3.2% | -0.2ポイント | 24 |
| | 2 | 各学部の人権アクションプランに基づいて行動することができている。 | 86.0% | 82.1% | 3.9ポイント | 11 | 6.0% | 10.5% | -4.5ポイント | 20 |

| | | 診断内容 | 肯定的意見 | | | | 否定的意見 | | | |
|-----------------|---|---|-------|-------|----------|----|-------|-------|----------|----|
| | | | R6 | R5 | 前年比 | 順位 | R6 | R5 | 前年比 | 順位 |
| 生徒指導・児童 | 1 | 学校では、児童・生徒の実態に応じたカウンセリングマインドを取り入れた児童・生徒(生活)指導を行っている。 | 85.0% | 86.3% | -1.3ポイント | 12 | 9.0% | 5.3% | 3.7ポイント | 15 |
| | 2 | 相談体制が整備されており、児童・生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる。 | 78.0% | 81.1% | -3.1ポイント | 23 | 14.0% | 9.5% | 4.5ポイント | 6 |
| 教育課程・個別の教育支援計画 | 1 | 児童・生徒の実態をふまえ、指導内容や指導方法、学習形態の工夫・改善を行っている。[85%以上] | 95.0% | 92.6% | 2.4ポイント | 1 | 1.0% | 4.2% | -3.2ポイント | 28 |
| | 2 | 1人1台端末を活用して、授業で個別最適な学びの支援を行っている。 | 80.0% | 82.1% | -2.1ポイント | 18 | 14.0% | 11.6% | 2.4ポイント | 6 |
| | 3 | 学校行事について教職員で話し合い、児童・生徒にとって魅力あるものとなつよう工夫、改善、精選を行っている。 | 83.0% | 83.2% | -0.2ポイント | 16 | 15.0% | 12.6% | 2.4ポイント | 5 |
| | 4 | 学校は、児童・生徒や保護者の願いを踏まえた教育活動全般にわたって「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を適切に活用している。 | 88.0% | 87.4% | 0.6ポイント | 9 | 3.0% | 7.4% | -4.4ポイント | 24 |
| キャリア教育 | 1 | 児童・生徒が夢や志をもって事故の可能性を広げ、粘り強くチャレンジする姿勢を育むような指導、支援を行っている。 | 94.0% | 90.5% | 3.5ポイント | 2 | 2.0% | 2.1% | -0.1ポイント | 27 |
| | 2 | 生徒一人一人が適正に応じて、きめ細かい進路指導を行っている。(中・高のみ) | 88.5% | 92.9% | -4.4ポイント | 8 | 7.7% | 3.6% | 4.1ポイント | 17 |
| 教員の資質向上 | 1 | 校内研修組織が確立し、計画的に研修が実施されている。[80%以上] | 80.0% | 77.9% | 2.1ポイント | 22 | 14.0% | 12.6% | 1.4ポイント | 8 |
| | 2 | 校内研修は、教育実践に役立つような内容となっている。[75%以上] | 80.0% | 76.8% | 3.2ポイント | 18 | 14.0% | 16.8% | -2.8ポイント | 8 |
| | 3 | 初任者等、経験の少ない教員を校内で育成する体制がとれている。[60%以上] | 60.0% | 57.9% | 2.1ポイント | 28 | 29.0% | 26.3% | 2.7ポイント | 1 |
| | 4 | 研修・研究に参加した成果を、他の教職員に伝える機会が設けられている。[75%以上] | 80.0% | 85.3% | -5.3ポイント | 18 | 11.0% | 5.3% | 5.7ポイント | 12 |
| センター的機能・地域連携・交流 | 1 | 学校は特別支援教育の「センター的機能の役割」を果たしている。 | 73.0% | 68.4% | 4.6ポイント | 27 | 6.0% | 5.3% | 0.7ポイント | 20 |
| | 2 | 近隣の小・中・高等学校との交流の機会を積極的に設け教育活動全般にいかしている。[75%以上] | 84.0% | 85.3% | -1.3ポイント | 15 | 6.0% | 7.4% | -1.4ポイント | 19 |